令和８年３月６日
１５００～１５１０

空幕長臨時記者会見

１　発表事項等

本日は急なご案内にもかかわらずお集まりいただき、ありがとうございます。航空自衛隊Ｕ－１２５Ａによる事故２件に関し、お知らせをいたします。１件目につきましては、令和７年９月１９日金曜日に発生をいたしました、新潟救難隊所属のＵ－１２５Ａの、新潟空港における滑走路逸脱事故の事故調査結果についてであります。本事故の原因は、脚を下げずに着陸を行い、事故機胴体下面と滑走路が接触し滑走路から逸脱するとともに機体を損壊したものであります。脚を下げずに着陸を行ったことの主な要因は、３点あります。１点目は、事故機機長が脚下げの指示及び脚下げの確認を行わないまま着陸したこと。２点目は、事故機副操縦士が着陸前の最終点検を正規の手順で実施しなかったこと。３点目は、事故機機長がノーフラップ形態による着陸への計画変更の際に実施要領等を事故機乗組員に説明せず、乗組員間の相互補完が可能な状態を築くことができなかったこと。であります。２件目につきましては、本年１月２２日木曜日に百里基地で発生した、Ｕ－１２５Ａによる滑走路上でのかく座についてであります。本事故発生後、同型機は飛行を見合わせておりましたが、事故機を除く部隊にあるすべての同型機において特別な点検を実施し、機体の健全性を確認するとともに、全操縦者に対する所要の教育を行うことで、飛行の安全を確保するための対策を講じたことから、本日から、飛行の見合わせを解除することといたしました。なお、事故の原因につきましては、現在、事故調査委員会にて調査中です。これらの事故が発生したことにつきまして重く受け止めるとともに、特に新潟空港におきましては、民航機に影響を与えたことで新潟空港及び周辺住民の皆様、利用者の方々等にもご迷惑、ご心配をおかけし、大変申し訳なく思っております。引き続き、再発防止策の徹底を図り、国民の皆様に安心感を持っていただけるよう、飛行安全の確保に万全を期してまいります。

２　質疑応答

Ｑ　航空自衛隊は昨年、Ｔ-４の事故だったり、Ｆ-２の事故、そして今回のU-１２５の２件の事故など事故が相次いでいるとは思うんですが、そのことに対してですね、幕長の受け止めとですね、先ほど再発防止の言及もありましたけれども、改めて、再発防止についてどのようにお考えかですね、お聞かせ願いたいです。

Ａ　ご指摘のとおり、今年度に入りまして、事故が連続していることにつきましては、航空自衛隊としても大変重く受け止めております。航空自衛隊では、事故後、安全管理に万全を期すため、すべての航空機に対する飛行前後の入念な点検や、操縦者に対する安全管理、緊急手順に関する教育を実施してまいりました。引き続き、再発防止に全力を挙げるとともに、航空自衛隊機の飛行に際しましては、安全確保に万全を期してまいりたいというふうに考えております。

Ｑ　今事故が連続していることは大変重く受け止めているとお言葉ありましたけれども、事故が連続してしまう根本的な要因としてどういうことがあるかっていうのは、空幕長、何かありますでしょうか。

Ａ　まず、今回の事故も含めまして、事故につきましては、複数の要因が絡み合い、生起をし

ます。しかしながら、まず新潟の事故調査に関しては、直接の事故原因が組織的な問題とまで言えるという要因は確認はできませんでした。また、現在、その他の事故も含めまして、事故調査委員会に現在調査中の案件もあります。そのため、今回の事故と、今回百里で起こった事故と組織的な問題との関連性については一概に申し上げることは困難だというふうに考えております。その上でですね、航空自衛隊におきましては、隊員がその心身ともに健全な状態で、その能力を充分に発揮しうるようなですね、その環境の構築を推進しつつ、組織的に安全確保をしていきたいというふうに考えています。

(以上)

【臨時記者会見動画】https://youtu.be/YM9J-DRnP0I?si=-4mP9IbDN7wQ5rE7